議 長 確認印	
------------	--

議会運営委員会会議録

1 日 時	開会 令和7年3月19日 11:35 (本会議終了後) 閉会 令和7年3月19日 12:08
2 場 所	委員会室
3 出席委員	吉田克則、七宮広樹、吉田広明、鈴木元久、菊地哲也
4 欠席委員	なし
5 出席要求者	副議長
6 職務出席者	議長、事務局長、書記
7 付議事件	第1 令和7年第2回埴町議会定例会の検証について その他
8 議事の経過	<p>七宮広樹副委員長による開会 吉田克則委員長によるあいさつ 第1 定例会の検証について 委員長：まず会期について問題なかったか。 吉田広明委員：大した問題はなかった。 副委員長：11日の平日が町長公務により休会、午後からの開会日が2日あった。 勘違いする議員もいたようだ。 委員長：1日目・2日目の議案説明について。意見ないので次に。 3日目・4日目の一般質問について。 吉田広明委員：アンケート結果に「誰だと分かる個別攻撃がうかがえる」とある。 代表監査委員への質問と思われる。あのような質問があると、今後、金融機関出身の方へ選任する際に支障とならないか危惧する。一般質問に合う内容でお願いしたい。反問権については、町長が3回行使したが、明確な質問、時間内に答弁まで終わるということを各議員すべき。私のことへのアンケート結果に「少し難しい内容」とあったが、言わなければならない内容だったのであのような一般質問であった。 菊地哲也委員：アンケート結果にあった「個別攻撃」だが、これはエール商品券の賛否についてのことではないか。また、そのときに課長に直接質問をした場面があった。答弁者は町長・教育長であるので、質問者が課長に直接答弁を求めるのはルールに則っていない。 副委員長：傍聴者と話をしている、なかなか席につかない議員がいた。 議員間をトラブルに巻き込むような質問はいかがか。 反問権は行使してほしくない。行使された議員は反省しなければならない。令和7年度は一般質問期限が早まるようなので、通告書提出後に内容が不明な場合は、担当課と調整する仕組みづくりが必要と思えた。執行部だけでなく、われわれ議員側も何を聞きたいのかよく分からない質問がある。勉強会が必要。議員の資質の向上は急務である。委員会所管事務報告書だが、今後ルールづくり等考えるべき。</p>

各議員席にコンセントがあるので、パソコンやタブレットの持ち込みなど有効活用できるよう全協で協議していければと思う。

議長：アンケート結果の「個別攻撃」は10番議員、「賛否」については1番議員と思える。議場の中で、個人が特定されるような質問は慎むべき。委員長から注意いただきたい。副委員長の意見についてだが、タブレット導入は早かったが活用されていないので、今後、情報化委員会等を立ち上げて議論していければと思う。

菊地哲也委員：議場でもタブレットが使用できるようになれば、もっと質疑もよくできると思う。

委員長：委員長から注意ということだが、それこそ個人攻撃にならないか。

議長：一般質問を認めたのは議会運営委員会である。委員長から注意し、それでもだめなら私から注意する。認めた以上責任がある。質問内容をよく審査すべき。

委員長：会議の席で注意ならよいが、それ以外で言うのはいかがか。1対1で注意するのは問題なのでは。

議長：それは当然。全員がいるところで注意。

副議長：議会運営委員会で物申すときには、委員長1人ではなく副委員長も同席して話をしては。

鈴木元久委員：所管事務調査報告書だが、提出が遅かったり、内容が参考にならなかったりした場合、個人的にその委員へ話をしようと思ったがなかなか言いづらい。

副委員長：立场上言わなければいけない。10番議員の通告だが、内容が分からないが議運で認めた。議運の問題であり、今後内容が不足しているものは外すこととすべき。所管事務調査報告書についても、内容が不足の場合は受け付けられないという扱いにしないといけないと思う。

吉田広明委員：今後あのような質問はさけていただきたい。

菊地哲也委員：議会の検証の会議録については、タブレットに格納はされるが、直近で開催する全協において、紙ベースで全議員へ配付しては。議運の結果報告として。

委員長：会議録は、議会ホームページにも公開される。全議員で確認するよい方法の一つである。

吉田広明委員：紙ベースで配付するのであれば、「内容が不足の場合は受け付けできない」など明瞭化してはどうか。

委員長：全協を利用して、検証結果の検証をしたい。

議長：議員間討議はどんどんすべき。前向きな話し合いである。

委員長：議会運営委員会としては、一般質問の内容については、具体的に・分かるような項目を上げていただきたいということとしたい。

副議長：質問するに当たっては、各議員勉強が必要であるのでそのことも付け加えたい。

委員長：次に、議案審議について。

吉田広明委員：後期高齢の件で健康福祉課長へ質問したが、的確な答弁をいただけなかった。

委員長：それは予算決算常任委員会での質疑ではないか。

次に、予算決算常任委員会について。

副委員長：質問について、不完全燃焼と思える場面もあった。3回というルールはあるが、重要な場合はそれを超えて質問していただきたい。また、通告順の質問をお願いしたいのと、答弁を求めるかどうかの意思表示をしてほしい。

委員長：他ないので終了する。

副委員長閉会

埴町議会委員会条例の第 27 条の規定により署名する。

令和 年 月 日

議会運営委員長